

まつえ 市議会だより

No. 32

2017
5月臨時会・6月定例会

MATSUE CITY COUNCIL NEWS LETTER



5月臨時会

議長はじめ新しい体制を決定

P 2

6月定例会、委員会・議員提出案件、陳情

地産地消などを推進する一般会計補正予算を可決

P 3

一般質問

市政のここが聞きたい 16人の議員が質問

P 4

常任委員会報告

総務・教育民生・経済・建設環境委員会の審査報告

P 8

常任委員会報告、9月定例会日程 など

予算委員会の審査報告、9月定例会日程 など

P10

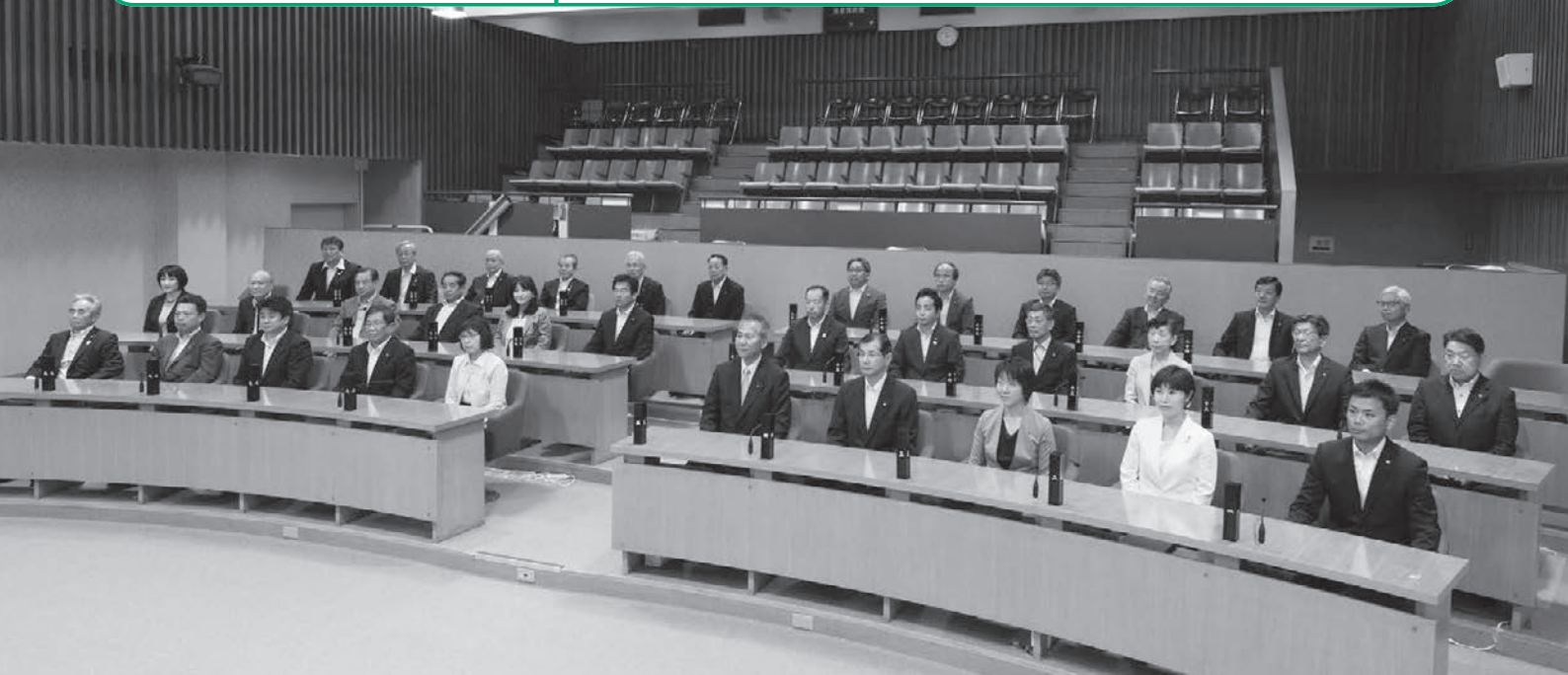
松江の元気な
子どもたち



5月臨時会

平成29年5月12日

改選後初の臨時会で、議長はじめ 新しい体制を決定



改選後初の会議となる臨時会では、議長並びに副議長を決める選挙をはじめ、議会選出の監査委員の選任同意、常任委員会・特別委員会などの委員の選任と委員長・副委員長の選出を行いました。（決定した内容は市報まつえ7月号折込「議会からのお知らせ」のとおりです。この記事は議会ホームページからご覧いただけます。）

新しい議会の体制が決まり、活動がスタートしました。市民の皆様の負託に応えるべく、しっかり市政を監視しチェックしてまいります。

また、臨時会までに決定した議会内の会派構成は以下のとおりです。

松江市議会

検索

会 派 構 成

●松政クラブ（16人）

河内 大輔	出川 桃子	細木 明美	米田ときこ
三島 伸夫	柳原 治	野津 直嗣	野々内 誠
野津 照雄	吉金 隆	森脇 幸好	森脇 勇人
三島 良信	三島 進	立脇 通也	比良 幸男

●真政クラブ（5人）

岩本 雅之	貴谷 麻以	川島 光雅	石倉 徳章
南波 巖			

●公明クラブ（4人）

太田 哲	長谷川修二	田中 明子	篠原 栄
------	-------	-------	------

●市民クラブ（4人）

森本 秀歳	畑尾 幸生	津森 良治	川井 弘光
-------	-------	-------	-------

●日本共産党松江市議団（3人）

田中 肇	吉儀 敬子	橘 祥朗
------	-------	------

●友愛クラブ（2人）

新井 昌禎	宅野 賢治
-------	-------

当選のあいさつをする議長・副議長



森脇勇人議長



吉金隆副議長

6月定例会

平成29年6月14日～7月4日

地産地消（人づくり・持続する地域経済・持続可能なまちづくり）などを推進する一般会計補正予算を可決

6月定例会は、平成29年度補正予算2件（一般会計・企業会計各1件）、条例案件6件、一般案件17件や承認案件11件（平成28年度補正予算の専決処分など）、同意案件19件（松江市農業委員会の委員任命）を審議し、全て原案可決・承認・同意しました。

また、議会から提出された委員会提出案件2件、議員提出案件3件及び陳情4件を審議しました。

市長の所信表明では、「選ばれるまち 松江」の実現に向け誠心誠意取り組む決意と、今後の最大の課題は『人口減少対策』であり、「地方創生」を実現する総合戦略を市民と一緒に「市民運動」として全力を挙げて取り組むことなどが表明されました。

一般質問には16名の議員が立ち、市長の政治姿勢や第一次総合戦略、農業問題、原子力発電所問題などについて市長及び執行部の見解を問いました。

平成29年度一般会計補正予算 総額11億8,509万円

<キーワードは地産地消>

○私立保育所運営費、

私立幼稚園施設型給付費 3億1,951万円

○松江城天守展示改修事業費 5,061万円 など

<地方創生を支える基盤>

○エネルギー構造転換理解促進事業費 5,500万円

○庁舎建設基金積立金 5億円 など

条例の改正・廃止（主なもの）

松江市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

松江市消防団において、団員確保策の一環として、大学生、大学院生又は専門学校生を消防団員として採用するため、任用条件について改正するもの。



宍道学校建設基金条例の廃止について

宍道学校建設基金の充当が完了したため廃止するもの。

松江市立幼稚園・幼保園預かり保育料及び一時預かり保育料条例の一部改正について

1か月単位の利用希望により行う「預かり保育」について、保護者のニーズに対応し長期休業期間単位の利用希望についても実施できるよう改正するもの。また、待機児童対策の一環として、松江市立幼稚園において緊急一時預かり保育を実施できるよう改正するもの。

松江市空き家を生かした魅力あるまちづくり及びまちなか居住促進の推進に関する条例の全部改正について

空家等対策の推進に関する特別措置法の施行及び松江市空家等対策計画の策定に伴い改正するもの。条例の題名を「松江市空家等対策の推進に関する条例」に改める。

委員会・議員提出案件の審査結果

件名	結果
委員会提出議案第4号 松江市議会委員会条例の一部改正について	原案可決（全員）
委員会提出議案第5号 森林環境税（仮称）の早期創設の実現を求める意見書について	原案可決（賛成多数）
議員提出議案第3号 働き方改革の推進を求める意見書について	原案可決（全員）
議員提出議案第4号 ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書について	原案可決（賛成多数）
議員提出議案第5号 すみやかな臨時国会召集を求める意見書について	否決（賛成少数）

陳情の審査結果

件名	提出者	結果
陳情第1号 北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求めることについて	幸福実現党 村松 利恵	不採択
陳情第2号 「共謀罪」と同趣旨の「テロ等組織犯罪準備罪」の拙速な法制定を行わないことを求める意見書の提出について	憲法を活かす会 代表 古川 忠光	不採択
陳情第3号 北朝鮮による度重なるミサイル発射と核開発の強行に抗議するとともに、この問題をめぐる国際的緊張の高まりを平和的に解決することを求める意見書の提出について	安保関連法（戦争法）の廃止を求めるしまね総がかり行動実行委員会 代表 井上 寛司	不採択
陳情第4号 森林環境税（仮称）の早期創設の実現を求める意見書の提出について	松江森林組合 代表理事組合長 林 干城 外3団体	採択

6月定例会 一般質問

6月定例会では、6月19日から6月21日までの3日間にわたり一般質問を行いました。

質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。



みしま よしのぶ
三島 良信

会派代表質問
(松政クラブ)

- ・市長の政治姿勢について
- ・不登校について
- ・儲かる農業について
- ・原子力発電所1号機について
- ・原子力発電所2号機について
- ・原子力発電所3号機について
- ・使用済み核燃料への課税について
- ・新庁舎の整備について

質問 「子育て環境日本一」と言えるか

保育所や児童クラブの待機児童が毎年続いている。「子育て環境日本一」はどこへという市民の声も聞く。毎議会ごとに同じ質問が出るが、いい加減この様な質問を終わりにしませんか。集中して予算化され、諸問題を解決してはどうか。併せて指導員の処遇改善も必要だ。

回答 名実共に「子育て環境日本一・松江」に

保育所の待機児童解消のため、「緊急一時預かり保育事業の実施」「企業主導型保育施設」を含めた保育の整備を進める。年度中途の待機児童解消に向けては、あらゆる対策を講ずる。児童クラブについて、待機児童の解消、居住環境の改善の視点で、運営協議会の皆様とも相談をしながら対応をしていく。平成27年から資格要件が義務付けられたことから、今後、人材と質の確保のため処遇改善について検討する。



の の うち まこと
野々内 誠

会派代表質問
(松政クラブ)

- ・松江市総合計画を実現するための財政計画について
- ・国引きジオパークについて
- ・地域振興のための個人への支援策について
- ・個人番号（マイナンバー）の取り扱いについて
- ・観光振興上の課題について

質問 個人への支援策を創る考えはないか

魅力ある地域づくりを進める団体にはキーとなる人の存在がある。そのキーとなる人を増やし、スキルアップや研鑽を支援することが市全体の地域振興につながると考える。地域づくり団体への助成制度に加え、キーとなる個人への支援策を創る考えはないか伺う。

回答 支援をしながらリーダー育成に努める

キーとなる人づくりをまず進めることは、そのとおりだと思っている。地域ごとに異なる課題に対し、その地域に合った取り組みを前に進めていく必要がある。地域の人材と外部の視点を持った人材が互いに連携して地域づくりを進めることは大変大事だ。

そのためのリーダーの育成は重要であり、今後は地域版総合戦略の策定や地域創生の総合窓口を通じて情報の共有等々、支援をしながら地域でのリーダーの育成に努めてまいりたい。



なん ば いわお
南波 巖

会派代表質問
(真政クラブ)

- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・ふるさと納税
- ・防災対策
- ・航空自衛隊美保基地における八束町
- ・松江北道路の新規事業化
- ・大橋川改修とまちづくり
- ・松江総合運動公園の再整備

質問 大橋川改修は単に河川改修ではない、中心市街地のまちづくりに活かすべき

東本町のまちづくりに幅広い意見を語り合う場の構築をして、民間と行政が協働して計画案を作成する体制を早く作る必要がある。船から陸を、陸から船を含めた回廊が重要である。松江駅前を開削し駅を降りると水辺が見えて水の都を感じ、船で駅から松江を案内し、堤防天端外つまり隣接する河川区域外で人が集まる常時商い空間計画が必要である。待ちの姿勢ではなく、積極的な財政面を含めたまちづくり行動を望むが、見解を伺う。

回答 地域特性を活かした町並み形成、水辺の賑わい空間創出に向けて検討する

現在、大橋川改修、新大橋かけかえにあわせた背後のまちづくりについて、具体的な協議をする段階である。地域特性を活かした町並み形成、水辺の賑わい空間創出に向けて検討するにあたり提案の実現に向け努力する。



つ も り りょうじ
津森 良治

会派代表質問
(市民クラブ)

- ・今後のまちづくりについて
- ・少子高齢社会を見据えた財政運営について
- ・農業問題について
- ・地域名表示ナンバープレートの導入について

質問 都市計画区域内に中山間地域が存在するが、今後の議論について伺う

島根県中山間地域活性化基本条例に基づくと、本市は都市計画区域内に中山間地域が存在している。違和感を感じるが、都市計画マスタープランの見直し議論の中でどう扱われるのか伺う。

回答 地域特性に応じた土地利用方針を定めていく

昭和45年当時は、市街化の圧力を抑制するため、市街化調整区域として設定された地域が、近年の中山間地域と同様に人口減少が進んでいる。これらの地域では、開発や建築を制限していればよいというのではなく、持続可能な地域づくりを行う上で、現状に合わない規制は見直すことも含めて、都市計画マスタープランの改定において、地域特性に応じた土地利用方針を定めていきたい。



しの はら さかえ
篠原 栄

会派代表質問
(公明クラブ)

- ・市長所信表明及び第1次総合戦略について
- ・消費者問題について
- ・C型肝炎対策について
- ・教育問題について

質問 保育所待機児童解消の可能性と今後の取り組みについて伺う

保育所待機児童は、毎年9月頃から月を追うごとに増加している。育休明けになかなか入れないのが実態。今議会でも保育士の処遇改善、企業主導型施設への補助などの取り組みでどのくらい待機児童解消ができるのか。

回答 合計309人の待機児童受け入れが可能と見る見込み

国の補助を受け、保育所の施設整備が来年4月には205人、幼稚園空きスペースを活用して行う緊急一時預かり保育の実施で14人など、合計309人の待機児童受け入れが可能になると見込んでいる。これから幼稚園空きスペースを活用してできるだけ広げていくことと企業の協力を得て企業内保育、企業主導型保育に取り組んでいきたい。松江市は年度途中の待機児童にも対応し、安心して生み育てられるところと全国に発信していく。



きたに まい
貴谷 麻以

(真政クラブ)

- ・子どもたちが誇りの持てる松江のあべき姿について問う
- ・少子高齢社会における松江の進むべき道は
- ・オリンピックとその後、の世界発信への方策

質問 人・雇用・福祉の状況や、文化伝統の維持活用策、新しいまちのかたちは

保育園の待機児童や人々の状況についてどう考えているか。また貴重な文化資源が所有者負担が数億から十億と多額なために修理できない状況である。子どもたちに継承していくために立法など国との連携は。そして総合的な新しいまちのかたちは。

回答 高齢者の所得状況は全国的に悪化、持続可能な磨き上げるまちづくりを

全国的に高齢者の経済状況は悪化している。ひとり親家庭支援や待機児童解消の取り組みを続けている。文化財の保存と活用については大臣から諮問が行われたところで、整備後の文化財が有効活用されるような整備や補助制度は市長会を通じて要望するとともに、補助制度のある民間財団などを所有者に紹介していく。古いものを大事にしながら磨き上げて持続可能なまちづくりをする。



たちばな よし あき
橋 祥朗

会派代表質問
(共産党市議団)

- ・安倍首相の憲法改正発言について
- ・原発問題について
- ・国保問題について
- ・子どもの医療費無料化について
- ・サイクリングロードの整備を

質問 島根原発、再稼働に市民は反対

先の選挙で出口調査では、57%が原発の再稼働に反対、市民は原発と再稼働に疑問を持ち、福島のような事故があってはならないとの意見が寄せられている。

①原発はなくとも電力は足りている、当面必要とする根拠は何か、なくすという将来とは。②放射能を無害にする科学、核のゴミを安全無害に隔離する科学を人類はもっており、核燃料サイクルは破たんしているが見解は。③避難計画は複合災害への対応はなく、バス4千台の配備や、車による避難計画は安全とは言えず実効性のないものではないか。

回答 電力は不足、安定した代替エネ確保を

①電力は不足し、火力で補っている。エネルギーの安全性、安定供給、経済効果など安定した状態が原発廃止の条件。②核燃料サイクルは国の方針なので、国の責任で取り組みを。③実効性を高める避難計画に取り組む。



はた お こうせい
畑尾 幸生

(市民クラブ)

- ・地域医療構想について
- ・医療構想と病院経営、診療報酬について
- ・介護保険と医療構想について
- ・「儲かる農業」論と農業の多面的評価について
- ・農福連携について
- ・選挙関係について

質問 農業と福祉が連携し障がい者の就労の場の拡大と工賃の向上、担い手対策を

最近、農の福祉力、農業と福祉の連携という言葉が注目されている。障がい者福祉施設と農業経営体の連携で、障がい者の就労の場の拡大と工賃の向上、担い手対策、6次産業化を進める動きが各地で取り組まれている。本市の現状と今後の取り組みを伺う。

回答 障がい者の自立支援等につながるので、積極的に進める

市内の障がい者施設福祉など54事業所のうち11事業所で農福連携事業が取組まれ、野菜の栽培や農産品の加工、高齢化により栽培できなくなった水田・畑の農作業の請負などを行っている。障がい者の方が農作業に従事し障がいの改善が図られた例もある。今後農業分野において、障がい者と農業者のマッチング、受け入れ農家の掘り起こしを行うなど積極的に事業を推進したい。



よし ぎ けい こ
吉儀 敬子 (共産党市議団)

- ・田和山遺跡の保存と活用
- ・市民の入浴施設存続
- ・種子法の廃止に伴う地産地消の影響
- ・C-2輸送機の滑走路事故への対応

質問 田和山遺跡の保存と活用について伺う

2001年に国指定の文化財となった田和山遺跡は、復元された住居がひどい状態である。三重の環濠の外に住居がある遺跡は全国的に珍しく「国引きジオパーク構想」にも「古代出雲の首都に生きる人々の大地」の中に位置付けられている。田和山サポートクラブの皆さんのボランティアに頼るのみでなく、市として遺跡の保存と活用に責任を持つべきではないか。

回答 現地を見てサポートクラブと相談する

4、5年前に現地でサポートクラブの皆さんから説明を聞いた際には、それほどひどい状態ではなかった。早急に現地を見てみたい。サポートクラブの皆さんには、大変御尽力をいただいていることに感謝する。維持管理について、ガイダンス機能を持つ建物を含め、サポートクラブの皆さんと相談し考えていきたい。



にい い まさただ
新井 昌禎 (友愛クラブ)

- ・人口減対策に向けたアクションプランの策定について
- ・観光政策（特にインバウンド対策）について
- ・日本一交通事故のない県都松江を目指す取り組み（第10次松江市交通安全計画）について

質問 普通免許で運転できる「公道カート」レンタル事業に対する所見を伺う

普通免許で運転できる一人乗りの公道走行可能カートをレンタル事業が話題となっている。法律上、シートベルトやヘルメットの着用義務がなく、交通事故が相次いでいることから、安全対策を強化する要請がある。松江市内でもレンタル事業を実施する企業があるが「公道カート」に対する所見を伺う。

回答 レンタルカート事業は、保安基準を満たし、法令に従って行われている

現在、市内にレンタルを行っている企業が1件ある。貸し出しを行っているカートについては、保安基準を満たし、法令に従って事業を行っており、松江市内では、カートによる交通事故は発生していない。しかしながら、都市部では交通事故も発生しており、当市でも発生する可能性はあり関心を持って情勢を注視したい。



の つ なおつぐ
野津 直嗣 (松政クラブ)

- ・共創の精神から共想の精神への深化について
- ・「水を活かすまちづくり」から「水と生きるまちづくり」への考え方について
- ・所属会派、松政クラブとの関わりについて

質問 水と生きる理念からのまちづくりや観光施策、定住施策を望む

古代出雲文化、城下町文化、宍道湖の夕日、誇れる地域資源を生み出してきた松江の最大の地域資源は水である。過去のプロセスにこそ、未来へ向かう本質がある。多くの歴史や文化や人の営みを捉えた、水と暮らす、水と生きる理念からのまちづくりや観光施策、定住施策を望む。

回答 先人の生きざまを学び、次の代に継承し循環させるまちづくりに努める

私ども高度経済成長期の生き様を振り返ってみると文化や歴史、そういう事よりも利便性を一生懸命に追求してきた。結果、循環性のないまちづくりになってしまったと思っている。先人の生き様をもう一度、学んで今の時代に活かし、次の時代に継承し、循環させていく考え方で松江のまちづくりに努めて参りたい。



ほそ ぎ あけ み
細木 明美 (松政クラブ)

- ・半島部の地域振興策について
- ・子育て支援と幼児期の教育について
- ・島根原子力発電所について

質問 合併して12年、半島部の現状と課題、今後の振興策をどう考えているか

山陰合同銀行が7月17日をもって統合し、鹿島町と美保関町から撤退することに対して市長はどう考えるか。その対策（特に高齢者への対策）としてATMを支所か公民館への設置を提案する。半島部は人口減少、事業者数の減少、農業・水産業の後継者不足が著しい。誰もが住みやすさを実感できるよう、心が感じられる温かい施策、高齢者に優しいまちづくりを期待する。

回答 よりきめの細かい総合戦略を打つ必要がある

それぞれの地域の課題を反映することができるよう仕掛けが動き出しつつある。うまく活用して地域の皆さまとアイディアを出し合って地域振興に取り組みたい。いろいろな問題はあが、是非元気を出して一緒に頑張っていきたい。



おお た さとし
太田 哲 (公明クラブ)

- ・引きこもりの方の自立支援、社会復帰について
- ・一人暮らしの高齢者の安全安心社会について
- ・松江城を中心とした観光について

質問 松江城周辺施設の活性化策を伺う

松江城周辺の駐車場不足は以前から問題であり具体的な取り組みと成果をお聞きたい。

また、小泉八雲記念館、武家屋敷等のリニューアルが進む中、今後、観光客を増やす施策はあるのか。

車イスの方は二の丸まで行けるが階段があるため松江城の本丸まで登れない。そのため天守を見るためには男性2人で担いで登っているが本丸まで行ける施策は。

回答 塩見縄手付近に遊覧船の乗船場を検討

国宝化になって以降、土日祝日に警備員を配置し県庁駐車場、民間立体駐車場、城山西駐車場に誘導している。国宝指定以来、50万人を超えたこの機会に殿町を中心とするエリアを新たに商業施設の誘導、駐車場の配置、公共交通の在り方を含め整備構想を検討。塩見縄手の誘導手段として来年の秋に堀川遊覧船の乗船場の設置を検討する。車椅子対応にサポート事業をやっている。



たくの けんじ
宅野 賢治 (友愛クラブ)

- ・いざという災害時に強い松江づくり
- ・子育て環境日本一松江・教育充実を軸としたまちづくり
- ・高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり
- ・今後の松江市の地域公共交通
- ・堀川遊覧船事業

保育士世帯の子どもは希望する保育施設

質問 に最優先で入所出来る制度導入を

保育を担う人材確保策の強化のために、保育士として働き続けてもらう工夫が必要である。保育士の子どもは、利用調整基準に関係なく、希望する保育施設に最優先で入所が出来る制度の導入を検討すべきではないか。

回答 来年度に向けて検討していきたい

本市は、保育士の人材確保の観点から、通常世帯よりも保育士世帯の子どもが入所しやすいように平成28年度以降、利用調整基準の点数を高く設定している。保育士の子どもを最優先で入所させることで、保育を担う人材を確保することが出来る。例えば、保育士1人が働くことで0歳児クラスであれば3人、1、2歳児クラスであれば6人の子どもが入所できるようになる。このようなことから、保育士の子どもが最優先で入所が出来る制度について、来年度に向けて検討していきたい。



た なか はじめ
田中 肇 (共産党市議員)

- ・北朝鮮のミサイル発射・核実験問題
- ・島根原発1号機廃止措置計画
- ・待機児童問題
- ・全国学力調査
- ・教職員の多忙化、労安体制

核燃サイクル前提の島根原発1号機廃止措

質問 置計画は市民の願いに背くのでは

共産党は、原発廃炉には賛成だが、全原発の廃炉を前提とし、核燃料サイクルの実施を前提としない廃炉であるべきと考える。この点で、核燃料サイクルの実施を前提とし、再処理した燃料を再稼働した原発で使おうとする今回の廃止措置計画は、原発のない松江を求める市民の願いに背くのではないか。

これまでの松江市の取り組みから、

回答 指摘は当たらない

使用済み核燃料が再処理され、稼働中あるいは今後再稼働しようとしている原発で再利用されるのは、市民の願いに反するとする主張は、われわれのこれまでの取り組みと全く違う考えである。約10年前、2号機のプルサーマル導入を議会及び市として承認しており、指摘は現時点においては当たらないと考える。



よねだ
米田ときこ (松政クラブ)

- ・人材確保対策について
- ・看護職等への暴力・暴言等について



看護職、保育士、介護職の人材確保の基

質問 本的な考え方について伺う

松江市の看護職等の医療福祉の有業者数は、平成22年が11,999人、平成27年は14,956人で増加している。人口減少の中、医療福祉が若者等の就業先である。人材不足に事業者は苦慮しているが、人材確保の基本的な考え方を伺う。

医療・福祉分野の人材確保が人口減少、

回答 地方創生に効果的な政策になる

地域包括ケアシステムは、医療福祉人材の需要は今後増える。処遇改善し積極的に支援する。看護学校の運営費補助や看護協会等との連携に努める。保育士処遇改善は給与増で勤務年数が延びた。介護職の給与が2万円増も離職防止にはなっていない。人材育成等の事業所支援は、男女共同参画推進宣言企業の認定制度を活用したい。認定看護師受講の奨学金制度は島根県へ働きかける。

常任委員会報告

総務委員会

(6/22開催)

総務委員会は議案18件、陳情4件を審査しました。その結果、全ての議案を原案可決・承認し、陳情については1件を採択、3件を不採択としました。

議案の審査内容（主なもの）

◆議第109号「松江市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について」

- 機能別団員のうち大学生等の団員については、まず研修を受けて消防団のことをよく知ってもらうことが必要だと考える。その上で各種啓発活動に携わっていただくこととしており火事の後方支援活動は想定していない。

◆議第121号「財産の無償貸付けについて」

（八束支所の一部を特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所に無償で貸し付けるもの）

- 来館者数については減少傾向であるが、インド哲学系の大学など10大学と連携協定を結び、研究者の来訪が進むよう取り組んでいる。
- 研究者以外の方にも幅広く愛されるように取り組まれており、この館の魅力を伝えていくということについて一緒になって進めている。



〈中村元記念館の展示室〉

経済委員会

(6/26開催)

経済委員会は議案3件を審査し、全ての議案を原案可決・承認しました。

議案の審査内容（主なもの）

◆議第126号「新たに生じた土地の確認について」及び議第127号「町及び字の区域の変更について」 （八束町入江港 港湾区域内の公有水面埋立地に関するもので関連があるため一括で審査しました。）

- 本件と同様に公有水面埋立の後、松江市の土地として登記されていない土地については、美保関町で2か所確認している。1か所は、千酌港で、現在、用地測量中であり、もう1か所は、稲積漁港であり、平成30年に用地測量を予定している。このような土地がないか、国土交通省からの占用許可の更新時など、随時確認したい。
- 埋立地の現状、管理、使用料の徴収については、現在、ものあげ場として使用しており、松江市が管理している。漁業者からの使用料は徴収していない。

◆承認第10号「専決処分の報告について（平成28年度松江市企業団地事業特別会計補正予算（第2号））」

- 今回売却予算を計上した揖屋干拓工業団地の土地については、ため池を埋め立てた状態で県の公社から購入したもので、造成はしていない。現状の一团での売却を考えており、地盤改良や進入路の整備、区画整理については必要に応じ、購入者が実施していただくよう考えている。
- 売却の予定については、現在、6社から引き合いがあり、今年度中の売却につながるよう活動したい。
- インターチェンジあるいは境港にも近いという交通利便性を広くPRしていきたい。
- 売却先の業種について、この団地はものづくり産業の集積地であるので、地元企業への部品関係の発注など、連携して産業の振興、雇用の効果があるものに結び付けたい。

常任委員会報告

教育民生委員会

(6/23開催)

教育民生委員会は議案8件を審査し、全ての議案を原案可決・承認しました。

議案の審査内容（主なもの）

◆議第111号「松江市立幼稚園・幼保園預かり保育料及び一時預かり保育料条例の一部改正について」

- 幼稚園での緊急一時預かり保育は保育所と同等に行われるかということだが、保育所と同じレベルの保育を委託業者をお願いしたい。
- 緊急一時預かり保育の利用要件は、松江市の保育園に入園できなかった満1歳から2歳の児童を考えている。
- 日額保育料1,400円の根拠は、保育所で実施している0から2歳児の場合、日額1,600円に給食・おやつ代300円を加えた1,900円に対し、緊急一時預かり保育は土日がないこと、弁当・おやつ持参であることから1,400円とした。

◆議第118号「松江市立湖南中学校校舎大規模改修1期（建築）工事の請負契約締結について」

- トイレについては、一般及び特別教室棟に一か所ずつ和式を設置、その他は洋式とする。

◆議第122号「財産の取得について」（老朽化したスクールバス兼コミュニティバスを更新するもの）

- 取得するスクールバス及びコミュニティバスについて、価格の一式の範囲は、条件を付した仕様書により、一式としている。リースの検討はしていないが、今後はあわせて検討したい。
- 指名競争入札で、最初から業者を決めてしまうのかということであるが、物品購入については、案件ごとに登録のある業種を指定して公開し、資格要件を満たす場合、市が指名して入札しており、一般競争入札に近い方法である。

建設環境委員会

(6/26現地視察、6/27委員会開催)

建設環境委員会は議案5件を審査し、全ての議案を原案可決しました。

議案の審査内容（主なもの）

◆議第112号「松江市空き家を生かした魅力あるまちづくり及びまちなか居住促進の推進に関する条例の全部改正について」

- 空家の実態については、町内会や自治会連合会、上下水道局の協力のもと調査を行ったが、空家の全体像を把握するのは非常に難しく、今後は、地域との意見交換などを行い実態の把握に努めたい。
- この条例の改正案では、まちなかや周辺といった区分をしておらず市域全域を同じように取り組み、地域の特性に応じた取り組みを今後とも継続していく考えである。
- 過疎化が進んでいる地域においても、農家の空家も含めてどのように活用するか、見直さなければならない。

◆議第125号「財産の処分について」（一の谷町の一の谷池を売却するもの）

- 国より無償で市に譲渡されたものであり、売却にあたっては、弁護士相談なども行い慎重に判断し、現状の形で諸条件をつけ売却という方針を決定したものである。
- 近隣の一の谷自治会への説明会では、売却により松江市の関与がなくなるのではないかとことが心配されたが、開発指導という形で今後も指導していくことを説明しご理解をいただいた。
- 一の谷自治会以外の周辺自治会にも計画を説明するという条件が付されている。また、売却先から誓約書もとっており、水処理の問題も購入者においてきちんと対応していただくよう行政として指導する考えである。

◆議第128号「市道路線の廃止について」及び議第129号「市道路線の認定について」（関連があるため一括で審査しました。）

- 一般の私道等を市道に認定するには、道路幅員が4メートル以上であるという条件を付けている。また、大規模開発等については、居住地内の良好な宅地環境を考慮し、基本的に6メートル以上を認定の基準としている。

常任委員会報告

予算委員会

(6/30開催)

予算委員会は議案2件を、総務・教育民生・経済・建設環境の4つの分科会で審査し、各分科会長が審査内容を報告し討論を行った後、採決を行い原案可決・承認しました。

議案の審査内容（主なもの）

- 来年度入学する小中学生を対象に、入学前に就学援助の準備金を支給するための予算と準備金の単価が増額されたが、国が待機児童対策として新たに打ち出した「企業主導型保育」に対して支援する予算が計上されており反対する。
- 第1次総合戦略の人口減少対策として、保育の充実、若者の地元就職を促進するための行動計画を策定する費用など、喫緊の課題に対応する予算が計上されており、速やかに効果的に執行されることを望み賛成する。
- 庁舎建設については、市民サービスの向上、利便性に資することを第一とし、経済性も追及するなど総合的に策定されることを要請する。



〈松江市役所本庁舎〉

9月定例会日程

月	日	曜日	会 議 名
9	6	水	本会議（会期の決定、提案説明、決算特別委員会設置） 決算特別委員会（正副委員長互選）
	11	月	本会議（一般質問）
	12	火	本会議（一般質問）
	13	水	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
	14	木	決算特別委員会（質疑、分科会分担・委託）
	15	金	総務委員会・㊦総務分科会・㊧総務分科会 教育民生委員会・㊨教育民生分科会・㊩教育民生分科会
	19	火	総務委員会・㊦総務分科会・㊧総務分科会 教育民生委員会・㊨教育民生分科会・㊩教育民生分科会 建設環境委員会現地視察
	20	水	経済委員会・㊪経済分科会・㊫経済分科会 建設環境委員会・㊬建設環境分科会・㊭建設環境分科会
	21	木	経済委員会・㊪経済分科会・㊫経済分科会 建設環境委員会・㊬建設環境分科会・㊭建設環境分科会
	26	火	決算特別委員会（分科会長報告・質疑、討論、採決） 予算委員会（分科会長報告・質疑、討論、採決）
	29	金	本会議（委員長報告・質疑、討論、採決）

※㊦は予算委員会、㊧は決算特別委員会

編集後記

まつえ市議会だよりが創刊されてから約8年が経ちました。今号からはイメージを一新して、表紙写真のテーマを「松江の元気な子どもたち」としました。とかく堅い表現になりやすい議会だよりですが市民の皆様にもっと親しみやすく、議会を身近に感じていただけるよう、新人議員らしく柔らかい発想で取り組んでまいります。本誌の取材、写真撮影、記事、構成などのすべてを議員が行なっています。ご意見ご感想などをお待ちしております。

議会広報等委員会委員長 河内 大輔

新しい委員で編集します



（左から）出川桃子委員、岩本雅之委員、川井弘光委員、河内大輔委員長、新井昌禎副委員長、田中肇委員、太田哲委員

【表紙説明 松江の元気な子どもたち】



幼稚園化が計画されている、松江市立八雲保育園、八雲幼稚園合同の川遊びを取材させていただきました。最初はバラバラに遊んでいた子どもたちでしたがすぐに慣れ、幼保園児一緒にカエルや魚を探すなどして元気いっぱい遊びました。

皆様のご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいております、ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただきます。

〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等委員会(松江市議会事務局)

電話 (0852) 55-5433

ファックス (0852) 55-5533

議会事務局メールアドレス

giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス

<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/>

